

「郷土史サークル いずみのふるさと」講座

生きがい元気講座

七北田宿の開設 400年をたどる講演会

後援：仙台市郡和子市長・仙台市博物館遠藤俊行館長・仙台市教育委員会
河北新報社・朝日新聞仙台総局・毎日新聞社仙台支局

講師：倉橋真紀氏 仙台市博物館学芸普及室

○「元和年間（1615～1624年）に本七北田からいまの七北田宿に駅を移した。この七北田宿の成り立ちは伝承も含むが、大筋は間違いないであろう。【仙台市史通史3近世1】
・・・七北田宿の開設は、元和年間のいつであったのでしょうか。政宗の奥州街道の整備の道すじを、400年前に遡って検証してみましよう。では、宿場とは何か。宿場は宿駅・驛馬・町場とも呼ばれ、①荷物を継ぐための場所「駅」であり、②宿泊・休憩施設のある場所「宿」であり、③商品を売買する場所「町」であるという複数の重要な役割を担っていました。（平成13年2月4日第23回市史講座。仙台市博物館市史編纂室倉橋真紀氏）・・・

11月28日(火)

午前10:00～12:00

場所：泉区中央市民センター 第1会議室(定員80名)

● 資料代 300円 仙台市泉区市名坂東裏53-1 022-372-8101

● お申込みは、こちらへ・・・（携帯）090-2566-4765 森田

主催：「郷土史サークル いずみのふるさと」

協賛：シニア・ワークスコース仙台（シニア・ワークス） 生きがい元気講座「百歳塾」

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3 仙台市市民活動サポートセンター「レターケース103」